

インテリア 基本語辞典

インテリア基本語研究会編著

彰国社

インテリア基本語辞典

1991年10月10日 第1版 発行
1992年6月10日 第1版 第2刷

著作権者との
協定により
検印廃止



自然科学書協会会員
工学書協会会員

Printed in Japan

©インテリア基本語研究会 1991年

ISBN4-395-10009-0 C3552

編著者 インテリア基本語研究会
発行者 山本泰四郎
発行所 株式会社 彰国社
160 東京都新宿区坂町25
電話 03-3359-3231(大代表)
振替口座 東京 6-173401

製版・印刷・真興社 製本・関山製本社

定価はカバーに表示してあります

インテリア 基本語辞典

赤工業学院図書館
蔵書章

インテリア基本語研究会編著

インテリア基本語研究会

村 野 聡（東京職業訓練短期大学校）

浮 貝 明 雄（東京職業訓練短期大学校）

川島平七郎（東横学園女子短期大学）

松 浦 勝 翼（東京職業訓練短期大学校）

装幀 藤 本 宿

インテリアという分野は従来、建築の一分野として比較的軽く扱われてきた観がある。そのため、用語的にも建築用語の中に適当に取り混ぜられて使われていたと言えよう。しかし昨今インテリアに対する関心が非常に高まり、教育の世界でも産業界でも、インテリアを建築から独立した分野としてとらえ研究やビジネスの対象にすべきであると考えようになった。1989年に日本インテリア学会も設立され、産業界もしっかりしたものになってきている。それに従ってインテリアの仕事につく人もインテリアを専攻する学生も急増しているという。となるとますます、この世界の専門用語についても早急に体系づけを行う必要があると思われる。このような状況のもとで、ほとんど第1号になるような用語辞典を出版することは、いささか勇気と決断が必要であるが、すでにこの分野が順風に乗って動きだしているのにまとまった基本用語の解説書がない、というのもいかにもなさけない気がする。そこで、インテリア関連の実務に携わっている人々、インテリアコーディネーターなどの資格を取るために勉強をしている人々、それに学校や大学でインテリアを学んでいる人々に、この分野の基本的な専門用語を知ってもらうことを目的とした、小粒だが中身の濃い基本語の辞典を作る決心をした。

編集に当たって特に考慮した点は

- ・従来の建築用語集では扱っていないがインテリアの分野では重要と思われる語を出来るだけ多くとりあげること
- ・用語の基本的な意味を可能な限り簡潔に分かりやすく解説すること
- ・オリジナルのイラストや図版を多く使い視覚的にも理解しやすいようにすること
- ・どこへでも持って行けるハンディサイズながら読みやすいスタイルにすること

などである。

なおインテリア関連の流通、販売などの用語は意図的に取り上げていないことをあらかじめお断りしておきたい。

用語の選択と解説には熟慮したつもりであるが、まだ不備な点もあるかと思う。読者諸氏のご教示とご叱正をいただけたら幸いである。

1991年9月

インテリア基本語研究会

あ、 い₁₂ う₁₆ え₂₀ お₂₄
 か₂₈ き₃₇ く₄₄ け₄₈ こ₅₂
 さ₆₁ し₆₆ す₈₂ せ₈₈ そ₉₅
 た₉₇ ち₁₀₅ つ₁₀₉ て₁₁₁ と₁₁₅
 な₁₂₁ に₁₂₃ ぬ₁₂₅ ね₁₂₆ の₁₂₈
 は₁₂₉ ひ₁₃₇ ふ₁₄₂ へ₁₅₀ ほ₁₅₄
 ま₁₅₉ み₁₆₂ む₁₆₄ め₁₆₅ も₁₆₇
 や₁₇₀ ゆ₁₇₁ よ₁₇₄
 ら₁₇₅ り₁₇₈ る₁₈₀ れ₁₈₂ ろ₁₈₃
 わ₁₈₅

凡例

- I. 見出し語も含めて、現代かなづかいで表記した。
- II. 外国人名はファミリーネームによった。
- III. 語の配列は50音順で、さらに①ひらがな、カタカナの順、②清音、濁音、半濁音の順においた。長音は「ー」で表し、「あ」の前においた(例1: コールドドラフト、小穴の順 例2: シーリング、シアンの順)。
- IV. 複数の意味を持つ語については、①……、②……と分けて解説した。
- V. 記号
 - 先行語の解説を見よ
 - 『』 書籍・雑誌名
 - 「」 ①解説中の引用文・宣言など
 - ②見出し語の別称
 - () ①難読語の読み方
 - ②その他の補足的説明
 - (法) この語の解説は法令(主として建築基準法関連)に準拠していることを示す

二 あ

アーゴノミー系家具

家具の機能分類の一つで、人体を支えるための家具の総称(例:椅子、ベッド)。人を快適に支える等の使い勝手に重点をおいて設計あるいは選択される。人体系家具ともいう。

アーツ・アンド・クラフツ運動

19世紀後期イギリスのウィリアム・モリスによって提唱された工芸運動。産業革命によって質の悪い工業製品が普及したことに対する抵抗がもとになって、手加工によるもの作りの復活(中世的な)を主張した。モリス自身モリス商会を設立して家具や壁紙を生産販売した。その後各地に起こった芸術・工芸運動への影響は大きい。

アームチェア

座の両側に肘掛けの付いた椅子。16世紀末ごろまでは、椅子といえばアームチェアを指し、肘掛けのない小椅子はバックスツールと呼んでいた。

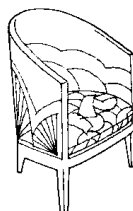
アームレスチェア

肘掛けのない背もたれ付き椅子。おもにくつろぐためより食事、勉強作業、事務作業などに用いられる。

アール・デコ

1925年のパリ装飾博覧会をきっかけに現れた新しい装飾のスタイル。装飾を否定したモダニズムへの反抗としての装飾中心の様式であるがいわゆる過去の歴史的様式を踏襲したのではなく、「新しい装飾の形」への動きであったため世界各地でほとんど同時にはやる現象となった。装飾といってもわけばけはしはなく洗練されたものが多い。アメリカのアール・デコはクライスラー

ビルの頂部やインテリア、流線型の車や船のデザインに顕著。1925年様式ともいう。

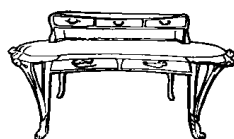


アール・ヌーヴォー

19世紀末から20世紀初頭にかけてパリ、ウィーン、ブリュッセルなどを中心としてヨーロッパ各地に広まった芸術・装飾の様式。過去の様式的な芸術や装飾から脱した新しいものを求め、曲線や色彩で自由な表現をすることを重んじた。アール・ヌーヴォーという呼び名は1896年パリにできた美術店の名に由来する。エミール・ガレ(工芸)、アルフォンソ・ミュシャ(画家)、ビクトール・オルタ、エクトール・ギマール、ヴァン・デ・ヴェルデ(以上建築家)などが代表的な人物であった。この様式をドイツではユーゲントシュティール(若い様式)という。



パリの地下鉄入口



デスク

アアルト、アルヴァ (1896～1976)

フィンランドを代表する建築家・家具デザイナー。同時代のヨーロッパの近代デザインの傾向とは異なった独自の手法できめの細かいヒューマニズム溢れる建築デザイン活動をした。特に自国の木材産業振興を考慮した木のインテリアや集成材による家具に優れたものが多い。パイミオのサナトリウム、イマトラの教会、マイレア邸、カレ邸(パリ)、フィンランディアホールなどが代表作。

藍色(あいいろ)

たで科の一年草である藍の葉や茎を染料と

して染めた青系の色。衣服の染料としては最も古くかつ広く用いられてきたわが国の代表的な伝統色である。藍瓶に漬けるごとに濃さを増し、順に、かめのぞき(瓶覗)、あさぎ(浅葱)、はなだ(縹)、あい(藍)、こん(紺)などの異なった色合いとなる。系統色名では、くすんだ青(2 PB 3/5)。

ISO(国際標準化機構)

1946年に設立した、国際的な標準化のための協力機関。その目的は「物資及びサービスの国際交流を容易にし、知的、科学的、技術的及び経済的活動の分野において国際間協力をはかること」で、各国規格を統一し、国際規格として制定すること及び加入団体や専門委員会の活動に関する情報交換などが主たる活動になっている。日本は1952年に日本工業標準調査会(JISC)が会員として加入した。

ISDN(Integrated Services Digital Network)

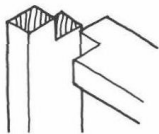
電気通信の多様なニーズに応えるための統合デジタル通信網。ISDNの日本版がINSである。

INS(Information Network System)

NTT(日本電信電話株式会社)が21世紀までに構築を目指している統合デジタル通信網。従来の電話線、ファクシミリ、データ通信等の別々のネットワークを光ファイバー、デジタル交換機などによって統合し、様々な情報サービスを実現しようとしている。

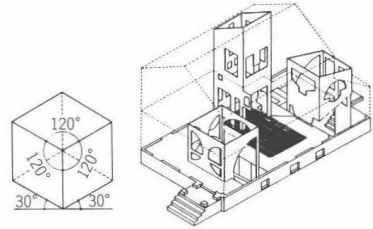
相欠き接ぎ

木材の接合方法の一つ。双方の材の半分を欠き取って合わせ接ぐもので、接合方法としては最も簡便なもの。釘打ちかビス止めの必要がある。



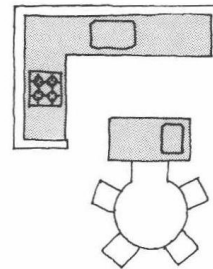
アイソメトリック

軸側投影図の一種。立方体を正面から見て頂点を作る三つの面が同じに見えるように傾けた状態(水平面にたいして35°)で投影した図を基本形とする。この場合すべての稜とも実長としては表されないが、実長に対する比率は同じになる。インテリアの俯瞰図などによく使われる。略語: アイソメ。



アイランド型キッチン

キッチンの機器の配置の一つで、機器の一部または全部が壁面から離れて部屋の中に置かれるもの。島(アイランド)のようになるのでこの名がつけられている。



亜鉛

酸化亜鉛を還元して作られる灰白色の非鉄金属。主に、イオン化傾向が鉄より大きいことを利用して亜鉛めっき用に用いられる。また、铸造性がよく、装飾金物に使われることもある。亜鉛めっきは通常の防食効果はあるが、酸やアルカリには弱い。海岸に近い所などでは、耐久性が劣る。

青図(あおず)

トレーシングペーパーの図面(原図)からとる白地に青線のコピーのこと。専用の印画紙を使う。大判の図面のコピーに適している。

茜色(あかねいろ)

植物の茜の根から採った染料の色。系統色名ではこい赤(4 R 3.5/11)。

アガチス

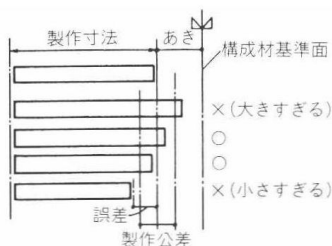
ニュージーランド、インドネシア、フィリピンなどに産する針葉樹。ナンヨウスギ科であるがしばしば南洋檜と呼ばれる。暗褐色で木理は不明瞭、狂いが少なく加工が容易で仕上がりもよいため建具、家具などに多用される。比較的安価。

アカンサス

地中海地方にみられるキツネノマゴ科の草の名で、この葉のモチーフは、古代以来、広く建築のデザインに用いられてきた。ギリシアのコリント式オーダーの柱頭装飾をはじめとして、時代や地域により特有の形態を示している。

あき

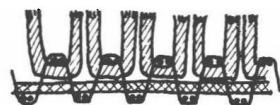
組み立てられる二つの部品間の目地あるいは隙間。モジュラーコーディネーションにおいて、構成材基準面と部品の製作寸法、組立基準面と部品の製作寸法の差の基準となるものであり、部品の組立作業のために必要とされる空間でもある。



アキスミンスターカーペット

縦糸の間隔に幾段にも房をいれ、次にそれを横糸で綴じて、絨毯の裏打ちとしたパイルもの。機械織カーペットの模様に出せる使用可能制限内において自由に色を選択(2~20色程度)し、模様を織り出すことが可能。スプールアキスミンスターカーペット、ブリッパアキスミンスターカーペット、セニールアキスミンスターカーペット

などがある。イギリスのアキスミンスターで作られるので、この名がある。

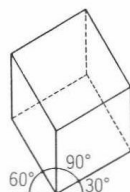


アクセントカラー

インテリアのカラースキームにおいて、ベーシックカラー、アソートカラーに対して、より小さな小物類などで色彩上のアクセントをつける場合に、これをアクセントカラーという。

アクソノメトリック

投影図法の一つの軸側投影図のこと。物体を水平面に対して傾斜した状態におき正面から投影した図。一般的には簡便化された図法が用いられ、それをアクソノメトリックと呼ぶことが多い。略語：アクソメ



アクティブ

積極的にエネルギーを用いて、空調設備などにより室内環境の制御を行うこと。

アクティブソーラーシステム(active solar system)

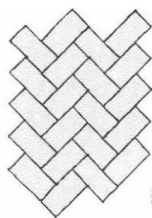
人工的な機械やエネルギーに頼って太陽熱を利用する方法。太陽熱温水器や太陽熱の冷暖房への利用、太陽熱発電等が該当する。

アクリル樹脂

アクリル酸等の重合によって作られる熱可塑性樹脂の総称。塗料、接着剤の原材料に利用するほか、ポリメタアクリル酸メチル等是有機ガラスとしてトップライト、ドア、人造大理石、照明器具等に利用される。

浅葱色(あさぎいろ)

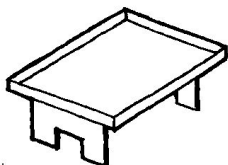
葱の葉の浅い色の意味で、古くは浅黄と書き黄色系の色であった。現在は系統色名で緑みの青(2.5 B 5/8)を指す。薄い水浅葱、くすんだ花浅葱などのバリエーションがある。



網代目地

足打(あしうち)

日本古来の調度の一つで、低い足のついた小型の食台。折敷に足がついたもの。



足掛け位置

椅子に腰掛けたときのかかとの位置。筋活動度からみると、下肢は上体と平行か、それよりもやや角度が大きくなるような位置がよい。

脚貫(あしぬき)

木製椅子の構成部材の一つ。主として、前後、左右の脚もしくは3本の脚に剛性を持たせる役目と装飾性の付与を目的とする。



アジャスターボルト

構成材の組立において、位置や高さなどのバランスの調整のために用いられるボルトで、かみ合わされたボルト・ナットの回転により微調整を可能とするもの。

網代目地(あじろめじ)

長方形の板状の部材を杉綾模様に張る張り方。床の二丁掛タイル張りやれんが敷きによく見られる。ヘリングボーン(杉あや)ともいう。

アスファルト

石油精製の副産物の暗褐色の固形または半固形の炭化水素等。これをフェルトに浸透させたアスファルトフェルトやアスファルトルーフィングはシート状の防水材として、床、壁や屋根の下地に用いられている。(JIS A 6005, 6006, 6007, 6012, 6013 等)

アスファルトフェルト

アスファルトルーフィングに似たアスファルトを浸透させたフェルト状のシート。アスファルト防水層や、屋根の仕上げ材の下敷きに使われる。

アスファルト防水

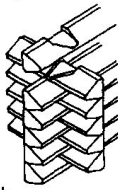
液状のアスファルトとシート状のアスファルトルーフィングを何層にも重ねてつくる防水の工法。熱で溶かしたアスファルトを用いる方法とアスファルトを溶剤に溶かす方法があり後者を冷工法という。アスファルトを使った防水工法は非常に古くから行われていた。

アスファルトルーフィング

動植物の繊維を原料にしたフェルト状のシートにアスファルトを浸透させ表面に粘着防止剤を散布したもの。アスファルト防水層として使われるほか屋根葺き材の下敷きとしても使われる。通常1巻の重さで22 kg, 27 kg などと呼ぶ。

校倉造り(あぜくらづくり)

木材を横にかさねて井楼組(せいろうぐみ)に組んで耐力壁とする工法。木材の断面には、丸、四角が多く使われる。奈良の正倉院が有名。ログハウスは丸太を使用したもの。



校倉造り

アセチル化木材

木材の主成分であるセルロースに付着している親水性の水酸基(OH基)を、化学処理により疎水性のアセチル基(CH_3CO 基)に置換した木材。湿度に対する寸法安定性が大幅に改良される。

アソートカラー

インテリアのカラースキームにおいて、ベーシックカラーでまとめられることの多い床・壁・天井等の建築部位に対して、家具・カーテン・カーペットなどでその部屋の色彩イメージを決定付ける場合に、それらの色をいう。

アダム様式

18世紀後期のイギリスの建築家ロバート・アダムとその兄弟によってつくられた古典的なデザインの様式。古代ローマの要素をふんだんに取り入れた建築や家具、インテリアを作った。イギリスの新古典主義。

圧縮応力

部材に圧縮応力が働いているとき、その応力に垂直な断面に対する単位面積当りの力。部材に曲げモーメントを受けると中立軸(中心線)にそって伸びも縮みもしない軸線)の上端に圧縮応力が現れる。

圧着張り

壁面のタイル張り工法の一つで、下地面にあらかじめ張りつけモルタルを塗っておきその上にタイルを押しつけて張っていくもの。タイルは上から下へ張っていく。だんだん張りの欠点を解消する工法として考えられたものであるが、張りつけモルタルの付着強度が弱くなるまで乾燥させてしまわないようにする必要がある(オープンタイムは20分程度)。外壁面では剥離の危険性が多

分にある。

厚付け仕上げ塗材

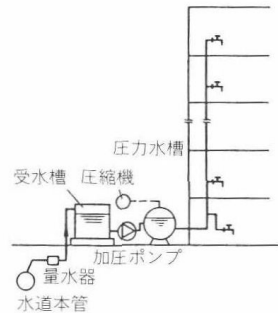
別名、吹付けスタッコともいわれ、厚く吹き付けローラーやこてで軽く押さえてスタッコ状の仕上げを得る吹付け材の総称。各種セメントやプラスターと顔料、寒水砂等を混ぜたセメント系と、合成樹脂エマルジョンと顔料、寒水砂等を混ぜた合成樹脂エマルジョン系とがある。(JIS A 6915)

厚張り

椅子張り技法の一つ。座る部分(土手)の形状が、土手作りの加工法によって決定されるのが特徴。主として、高級な椅子に使用され、別名、土手張り。

圧力水槽給水方式

中高層建築や極めて高い水压を必要とする場合に用いられる給水方式。受水槽に受けた水をポンプにより圧力水槽に注水し、圧力水槽内の空気を圧縮することにより高い水压を得て、給水する。



あて

立木当時に、外力を受けたり、急斜面で成長した場合、外力に抵抗するため細胞組織の異常発達した部分。反ったり、狂ったりしやすい部分で木材の欠点の一つ。

アテック

屋根裏部屋のこと。

アトリウム

①古代ローマの邸宅の主要な広間で、屋根

の中央部に天窓がついたもの。床は石敷きで中央に雨水を受ける水盤がおかれた。ポンペイの遺跡などに多く見られる。②今日的には、吹抜けの上部にガラスの屋根がかかったホテルやオフィスのロビーなどの開放的空間のこと。

あばら筋

梁の上端と下端の主筋を連結し、せん断補強のため主筋の外周に配する細い鉄筋。スターラップともいう。

アフターフィニッシュ

現場で行う仕上げのことで、工場で部品状態で行うプレフィニッシュに対していわれる。

アプローチ

住宅計画において、道路や広場などから各戸の出入口に至る専用または共用の取付き通路。

雨仕舞(あまじまい)

雨が建物の内部に浸入しないようにする処理のこと。雨仕舞が悪いと雨漏りが生じることになる。

網入り板ガラス

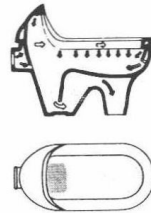
溶融状態時に、ガラスの中に金属の網や線を封入したガラス。表面は、片面に型模様のある型板ガラスと両面を研磨して平滑で透明なものと2種類ある。衝撃で割れても、網や線が破片を支えるため、飛散防止効果があり、火災の延焼などを防ぐ効果もある。網入りガラスはアルミサッシとの組合せて乙種防火戸として法規上認定されている。(JIS R 3204)

アメニティ

居住性・快適性を意味し、住宅のプラン、デザイン、室内環境から地域環境、都市環境まで、また物理的条件から社会・経済的条件に至るまで、非常に広義に用いられている。

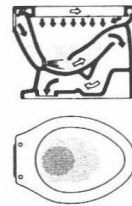
洗落し式便器

汚物がトラップの封水中に没入し、水洗時に溜水面の落差を利用して流す便器。溜水面積が小さいため、乾燥面に汚物が付着して臭気が出やすい。



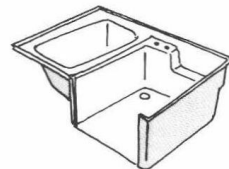
洗出し式便器

水のたまる浅い受け皿の部分をつくり、汚物を受け、水洗時にトラップ方向に流し出す便器。受け皿に汚物が露出するため、臭気が発散する。



洗い場付き浴槽

浴室のユニット化において、浴槽・床・腰壁を一体的に成形した部品を洗い場付き浴槽あるいはハーフユニットという。水もれを起こしやすい浴室の腰から下の部分を一体化し、腰から上の部分に窓や仕上げの自由度をもたせた洗い場付き浴槽は、2階以上の階に浴室を作る場合に有効な部品とされている。



荒壁

小舞下地の土壁の仕上げ塗り前の状態の壁。古い草庵茶室などではこの状態を仕上げにしているものがある。

荒木田土

小舞下地の土塗り壁の荒壁に使われる粘土混じりの土砂。荒木田は地名。

アルキッド樹脂

多塩基酸と多価アルコールの縮合反応によって作られる熱硬化性樹脂でポリエステル的一种。乾性油や他の合成樹脂と混合されて塗料に用いられるほか、難燃の成形材料としても利用される。

アルコーブ

室および廊下、ホールなどの一隅または壁面の凹状のくぼみ空間の総称。床の間も一種のアルコーブになる。

α -オレフィン系接着剤

ポリカルボン酸やラテックスを主成分とした灰色の粘液状の接着剤。木質やモルタル系の壁天井下地に各種ボードや木れんがを接着するのに使われる。耐水、耐熱性は比較的良好だが、強アルカリ性のため皮膚や目に触れないようにする。また、湿潤面には使えない。

アルミニウム合金

アルミナ(Al_2O_3)を電解して作られた純粋なアルミニウムに、強度などを改善するため、他の金属元素(Cu, Mn, Mg 等)を加えた合金。種類としては、サッシ等の建材に広く使われている耐食アルミニウム合金、強度に優れる高力アルミニウム合金、鋳造用アルミニウム合金などがある。鉄や銅等と接触すると電気化学的腐食が生じることやモルタル、コンクリートのアルカリ類の侵食を受けやすいことに注意する。

合わせガラス

2枚の板ガラスの間にプラスチック(ポリビニールブチラル樹脂等)のシートを挟んで加熱圧着したガラス。衝撃により割れても、プラスチックシートがあるため破片が飛散しないし、衝撃物が貫通しにくい。防犯性も高く、安全性が要求される部分に使

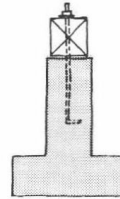
われる。(JIS R 3205)

アンカー

ボルトや鉄筋などでコンクリートや鉄骨にものを固定すること。またその役をする鉄筋やボルトのこと。

アンカーボルト

部材を固定するためにあらかじめコンクリートに埋め込んでおく先端にフックのついたボルト。布基礎に埋め込んで土台を固定する目的に使われるもの。



安山岩

緻密で硬く、強度、耐久性に優れ、特に耐火性がよい火成岩の一種。磨いても艶は出ず、大材が得にくいことから、土台や石垣に使われることが多い。住宅の敷石や張り石によく使われる厚さ2~3cmの板状の鉄平石は安山岩の一種。

暗騒音(あんそうおん)

ある音を対象とした場合に、その場所・時点で背景となっているすべての音をいう。例えば上下階での床衝撃音を問題にしている場合の、電車や車あるいは人の声などである。

アンダーカーペット配線方式

床上に極めて薄い特殊なリボン状電線を直接敷設し、その上にカーペットを敷いて仕上げる新しい配線方式。配線の変更が比較的容易なので事務所などに使われることが多い。

アンダーフェルト

カーペットの下敷きに敷くフェルト。グリッパー工法には必ず用いられ、厚さはカー

ベットと同じにする。

安定器

蛍光ランプ、水銀灯など放電ランプの放電を安定させる装置で、チョークコイルまたはリアクタンスコイルとも呼ばれている。バラストともいう。

案内図

計画敷地の場所を分かりやすく示す案内用の地図。配置図に添付される場合が多い。

アンバー

アンバー(unber)は、水酸化鉄を主成分とする天然顔料で、天然樹脂の琥珀の色とほぼ同じ色。系統色名では、くすんだ赤みの黄(8 YR 5.5/6.5)。

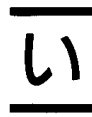
アンピール様式

ナポレオン1世の時代(19世紀初頭から1830年ごろまで)にフランスを中心にしてヨーロッパ各地で流行した古代ローマやエジプト色の強い男性的な建築・装飾の様式。凱旋門などの古典的な記念物に代表されるが室内装飾の方に特徴が強く現れた。ナポレオンに仕えたペルシェとフォンテーヌの二人の建築家によるフォンテンブロー宮殿、マルメゾン宮殿のインテリアがその代表的な例。直線的で厳格な対称性をスフィンクス、ローマの鷲、勝利の女神、月桂樹、イニシアルのNなどを金をあしらった力強い装飾で構成した。



安楽椅子

張りぐるみ形式の休息用肘掛椅子の総称。安楽椅子の原形は17世紀に用いられたウィングチェアであるといわれている。→ イージーチェア



イージーチェア

背もたれ、肘掛け付きの休息性の高い椅子。一般の椅子に比べて、座面が低く、座幅は広く、背面の傾斜は大きく、肘幅は広く、クッション性も大きい。

イエロー

黄色(Yellow)で、色料の3原色の一つでもある。また、マンセルの色相上最も基本的なものの一つで、Yと標記される。Yの純色は、R, G, B, Pと比べて、特に明るい色である。

イオニア式

ギリシア建築のオーダーの一つでドーリス式に続いてイオニア地方に現れたもの。渦巻き形の柱頭と細身の柱身で優美な形態をもつ。エンタシスはほとんど目立たない。

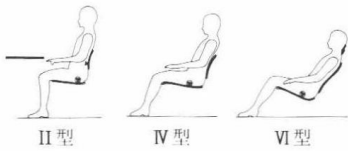


伊豆石

伊豆半島東海岸で産する安山岩の一種。庭石、門柱、石碑、敷石などに使われる。

椅子のプロトタイプ

椅子を人間工学的な考察により休息度の低い順にI～VI形に分類し、座面や背もたれの最終安定姿勢における機能的に適切な寸法、角度及び形状例を示したもの。



椅子のプロトタイプ

椅子張り

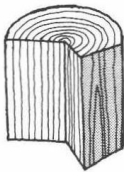
椅子製作工程の一つ。椅子の座・背および肘に詰め物などを施し、それらを上張り材で覆う方法。快適な椅子を製作するためには、座面の形状・クッション性・体圧分布などを考慮する必要がある。

イスラム様式

6世紀のアラビアに起こったイスラム教文化において形成された建築・デザインの様式。アラベスクといわれる繊細で複雑な幾何学模様や唐草模様が特徴で、動物や人間を装飾に用いることは禁じられた。建築はモスクに代表されドーム、ミナレット(塔)、ミンバル(説教台)が特徴。イスラムのアーチは馬蹄形、尖頭形、多葉形、オージ形など種類が多い。スペインのグラナダにあるアルハンブラ宮殿は後期イスラム様式の傑作である。

板目

年輪が山形や波形になって表れた木目。反りや狂いが出やすいが、製材に無駄がなく、幅広材が取りやすい。



位置公差

構成材を組み立てる場合には、組立基準面に対する必要なあきを確保して位置を決定するが、あき寸法の誤差(上限と下限)は位置公差の範囲内に収まるように注意しなくてはならない。あき寸法が小さすぎたり大きすぎたりすると、組立不能になったり隙間がでたりして、組立作業に支障をきた

すことがある。

1 消点透視図 → 平行透視図

一文字瓦(いちもんじがわら)

日本瓦の一種で、軒先瓦の下端が一直線にそろった形状になったもの。数寄屋造りによく見られる。

一戸建て(いっこだて)

1住戸1棟で他の住宅に接続しない住宅をいい、二戸建て、長屋建てなどの連続住宅に対するもの。集合住宅に対比する場合には、独立住宅という。また、単に戸建てという場合もある。

一酸化炭素

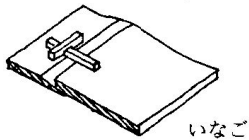
不完全燃焼により発生する無色・無味・無臭の気体(分子式はCO)。ごく微量(0.02%)でも、激しい中毒現象により頭痛・めまい・吐気を起こし、放置すれば死に至る(0.32%の濃度で30分)。いわゆるビル管理法では、一酸化炭素の室内における濃度を10ppm(0.001%)以下に管理するよう義務づけられている。

一体成形

浴室ユニットなどで、床・壁・天井・浴槽などの一部あるいは全体を、FRP等により一体に成形すること。工場あるいは現場での組立・接合工数が少なく、水もれを起こしにくい工法である。ただし工場でのストックや輸送において、スペースをとるという不利な要素もある。腰から下を一体成形したハーフユニットタイプや全体を一体成形したキュービックタイプなどがある。

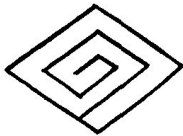
いなご

棹縁天井の天井板の継ぎ目を重ねて留めるために付けられる長方形の木製の留め具。形状がイナゴに似ていることからついた名称。本いなごと付けいなごがある。



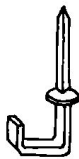
稲妻

雷光の形をした文様で建築や木彫・陶器などの装飾として世界各地で広く用いられてきたもの。雷文ともいう。



稲妻折れ釘

角型のフック状の釘で床の掛け軸吊り金物として使われる。同じ目的のもので溝に差し込んで釘の位置を左右に動かせるようにしたものを稲妻走り釘という。



稲田石

茨城県稲田地方に産する花こう岩の一種。白色で粒の粗さは中程度、稲田御影ともいわれる。内外壁や床装飾等の建築用や造園用に使われる。

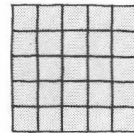
イメージ

人が物や人に対して心に抱く印象で、心象、形象などともいわれる。デザインやコーディネートをする場合に、まず心に浮かべるものを有形、無形にかかわらずイメージと呼ぶことがある。イメージは、漠然としてとらえ難いものがあるが、SD法により調査したり、因子分析の手法により統計的に把握したりすることができる。

いも目地

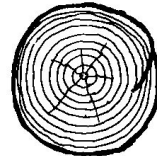
縦、横の目地が直交して格子状に通る目地。コンクリートブロック積み目地はいも目

地が一般的。



入り皮

樹幹が傷を愛け、治癒した部分の樹皮がその周囲の新生組織に巻き込まれたもので木材の欠点の一つ。さるばみ(猿喰)ともいう。



色

物や光の状態や特性をあらわす属性の一つで、物理的には、可視光線のスペクトル分布(分光分布)によって決定付けられるものである。日常生活上は、物には固有の色があると思われがちであるが、どのような物体をどのような光が照らしているかによって、色の見え方は全く異なるものである。人間の目は、網膜上の光の刺激を神経経路を通じて脳に送り、色の知覚や感情として意識の活動を喚起するとされる。

色温度(いろおんど)

光の色を表現する指標の一つで、色度の等しい黒体の絶対温度(°K, ケルビン)で表す。光の色は色温度の上昇につれて、赤・黄・橙・白・青みを帯びる。一般に白熱ランプの色温度は2,800°K、ハロゲンランプは3,000°K前後、蛍光ランプは4,200~6,500°Kなどとなっている。赤みの強く感じられる白熱ランプは色温度が低く、青みの強く感じられる蛍光ランプは、色温度が高い。

色焼付けガラス

板ガラスの片面にセラミック質塗料を高温焼付けし、急冷処理された不透明な着色ガラス。

色立体

色相, 明度, 彩度の3属性で定義される物体の表面色を, 3次元の空間に系統的に並べた模型。中心軸に白を頂点とする無彩色段階を置き, 周囲には遠心的に無彩色から純色へ, 色相環に従って配列されている。表色系の違いにより, 3属性のとらえ方が異なるため, 色立体も違ったものとなる。マンセル色立体, オストワルト色立体, PCCS 色立体などがある。

インターホン設備

外線と接続しない電話設備の総称。

インテリアゾーン(interior zone)

事務所ビルなどの広い部屋において, 外壁窓際から 3~6 m 以上はなれた部分。冷暖房の負荷計算をする際, 日射の影響が少なく, 外壁からの熱的影響が少ないので別に計算する。

インテリア・モデューラーコーディネーション

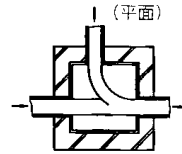
室内を対象としたモデューラーコーディネーション(MC)をいい, 住宅の工業化を進める上で内の子をモジュールにしたがって規定し, インテリア・エレメントを一定の MC により適用し, 互換性のある空間を構成する方法またはその設計をいう。IMC と略す。

インバーター(inverter)

電力の周波数制御装置のこと。エアコンや蛍光灯照明器具に一部使われている。蛍光灯などの照明器具では 50 または 60 Hz の交流電源を数万 Hz に周波数を変えることによって, ちらつきを減少させて明るさを増大させる。ヒートポンプエアコンでは数十~百数十 Hz に変化させ, 冷暖房能力を調節するとともに立上がり時の負荷にインバーターで対応することにより電気料金を節約する。

インバートます

汚水を流すため, インバート(導流用に設けられる底部の溝)を有するます。管詰まりを避け, 掃除点検のため, 屋外污水管の合流点, 方向転換点などに設置される。鉄筋コンクリート製やプラスチック製等で導流方向別等に種類がある。汚水ますともいう。



インピーダンス (Impedance)

交流回路を流れる電圧と電流の比で, 抵抗と見なせるもの。単位(Ω)

インレイドシート

不織布や塩ビのバックング層の上に, 着色した塩ビチップを塩化ビニール樹脂で固めて積層したビニール系床シート。チップによってモザイク模様などを作る。比較的耐久性がよい。